

令和7年度 第2回名取市中小企業・小規模企業振興会議 会議録

開催日時	令和8年3月24日（火）10時00分～10時40分
開催場所	名取市商工会館2階大研修室
出席者	洞口会長、小島副会長、赤間委員、藤井委員、奈良委員、後藤委員、武田委員、赤坂委員
欠席者	庄子委員、大沼委員
事務局	小松生活経済部長、守商工観光課長、越河主幹兼商工振興・雇用促進係長、片桐主査
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人

1 開 会

2 挨拶 洞口会長

3 議 題

(1) 令和8年度中小企業・小規模企業振興施策について

事務局より、資料1に基づき施策について説明。

事務局説明後、会長より資料1について委員からの意見・質疑を求めた。

チャレンジショップ事業、空き店舗活用支援事業

(委員) 業種替えはチャレンジショップの対象か。

(事務局) 「新規創業」は事業を行っていない者であり、チャレンジショップの対象とならない。

(委員) 市のホームページで空き店舗情報を公開できないか。

(事務局) 情報の更新頻度や管理の難しさから、現状は不動産業者を通じて探してもらう形となっている。

(会長) 旧4号沿いは住居部分と店舗の上下水道が分離できず、独立して貸し出すのが難しい物件が多い。以前から市に上下水道敷設の意見はしているが、そうした空き店舗を本補助金で解消するのは難しい。

(事務局) 空き店舗を扱う不動産業者には本補助金の情報を提供するなど連携したい。

産学官連携等促進事業

- (委員) 産学官連携の現況と予算枠、ナノテラス利用の想定は。
- (事務局) 今年度の補助事業5件が次年度継続を想定しており、ナノテラス上乘せを想定した新規分2件を含め、計7件分を予算化している。

海外販路開拓支援事業

- (委員) 海外展開などきっかけがあればやりたいと考える層への周知も必要では。金融機関の海外展開サポート事業もあることから連携してはどうか。
- (事務局) 金融機関へのチラシなど情報提供をしたい。

中小企業振興資金融資

- (委員) 金利はこれからも上がるのか。事業者の厳しい経営環境を考慮し、保証料の市全額負担は継続してほしい。
- (事務局) 県制度融資の動向も参考にしていきたい。保証料の全額補給は継続し、安定した資金調達を支援する。

その他

- (委員) 建築関係等で物価高騰が厳しい。リフォーム助成金などの検討はできないか。
- (事務局) 現時点では物価高騰に対応するための特定事業はない。国の交付金事業が出た場合に市全体の対策検討における参考とする。
- (委員) 今年度の各事業の状況は。
- (事務局) 実績報告前の状況で、チャレンジショップ3件、空き店舗活用2件、海外販路開拓4件、産学官連携5件、プロフェッショナル人材3件、事業継続力16件。出張ハローワーク、高校生向け説明会、インターンシップ情報交換会を実施した。
- (委員) 情報提供。尚絅学院大学、仙台大学、名取市、岩沼市、柴田町、企業の県南の地域の人材育成を目指したプラットフォームが令和7年7月に立ち上がった。今後、地域の中小企業や小規模企業に対して必要な人材を提供できるよう整えることを目指している。要望などの情報提供をお願いすることがあるかと思う。
- (委員) 空き店舗活用などの取り組みはなとり共創ラボなどとの連携もおもしろいかもかもしれない。

4 その他

(1) なとりコイン事業について

事務局より、資料2に基づき説明を行った。

- ・ 令和8年度よりDX推進室から商工観光課へ事業移管。
- ・ 利用促進キャンペーンとして予算240万円を確保。
- ・ ネイティブアプリ導入と年末売り出しと連携したキャンペーンを検討。

5 閉 会

以 上